



歴史ロマン古道ニュース

【発行】歴史古街道団
ホームページ <http://rekkodan.a.la9.jp/>

団長：宮田太郎 TEL.090-7002-3431
本部：東京都多摩市桜ヶ丘



新シリーズ“大縄文街道”探索調査

～「多摩よこやまの道」延長ラインの謎～ が、いよいよ山里に入ります！

多摩丘陵～甲州勝沼駅跡迦堂遺跡&八ヶ岳山麓へ向かって、4つの探索チーム編成で古街道跡を探求していきます
(参加者募集!!)

多摩市で発見！の「徳川家康の日光改葬千人行列の道」が、 いよいよ保存へ向けてGO !!

2016年も大勢の方々にウォーキングや座学に参加して頂き、たくさんの場所に、様々なテーマで皆さんと探訪することが出来ました。厚く感謝申し上げます。

2016年11月から、当団では、これから約2年かけて、新シリーズ「大縄文街道“多摩よこやまの道&延長ライン”探索調査！」を踏査すべく行動を開始しています。これは、多摩川や広大な武蔵野を眺望できる多摩市連光寺向ノ岡に始まって西方に延びる尾根が、多摩よこやまの道を経て、津久井湖に近い城山湖の後ろの「草戸山」まで、約24km続くことを確かめ、さらに西へとたどると、どこまで続いて行くのか、また、この尾根こそ相模川(上流は桂川)に沿って甲州盆地方面や八ヶ岳へと続く、数千年間に渡る“縄文時代の大街道”だったのではないか?! ——という私たちの仮説を検証していくことが目的です。(*団報 No.31号[前号]参照。)

そもそも、この尾根道に沿って広がる縄文文化圏は、共通する土器形式圏(富士眉月弧=人間の顔の真ん中の鼻を「富士山」、両目の上の二つの山型の眉を伊那谷の駒ヶ根市～諏訪湖～甲州盆地～大月～多摩・武蔵野への地勢に例える)であり、黒曜石、ヒスイ石などを多摩・武蔵野に運んだ道も当然ながら存在したはずです。これら日本を代表する大縄文圏であった証が、多摩ニュータウン



境川源流に近い旧城山町は古代遺跡が豊富なエリア。
武蔵岡遺跡を代表する古代の人々が父母神や祖靈神
として崇め、心を寄せた龍籠山(タツゴヤマ)。

の一千箇所の遺跡群であり、そこに秘められた大切なメッセージも見えてくるに違いありません。

世界最古の土器文化を持つといわれる日本の縄文時代の、その中心的なエリアこそ、多摩・武蔵野だった——ということを、あらためて再認識していきたいと思います。

この調査を、これから会員の皆さんと、4つの“エリア踏査隊”に分けて、2年間の予定で、調査・探索していきます(*参加方法は検討中。)

宮田団長のこのテーマでの

ウォーキは4月から再開されますが、その間の1月からは、各踏査隊の活動も始まっています。皆様のご都合の良い時に、分科会での現地調査に、奮ってご参加下さいますよう、お待ちしております。

また、もう一つの取り組みは、多摩市一本杉公園内や町田市小野路町の山林内で既に確認していた古街道跡(1990年宮田)=「矢倉沢古往還(足柄古街道)、家康の御尊櫃御成道(日光改葬の道)、大山道」を、いよいよ実際に保全し、また地域の歴史文化の再発見と地域活性に活用していくという活動です。

日光改葬の道というのは、江戸時代の始めに、徳川家康の遺言に合わせて靈柩を静岡県の久能山から栃木県の日光まで移した1300人の大行列の道でもあり、また後の

江戸時代中期以降からは大山道(宇都宮～大宮～府中を経て大山に至るルート)となって賑わった貴重なる歴史街道です。

古街道跡の保全整備を、今後は多摩市の関係各課と連携・

協力して推進していきます。あわせて「家康のお柩街道(おひつぎかいどう)復活プロジェクト」を運営委員会内に設置いたします。皆様の力強いお力添えをよろしくお願ひ致します。

《ガイドリーダーウォークと座学講座のご案内》

古街道団ガイドリーダーによる、人気の古道探索ウォーク、ならびに好評の定例「吾妻鏡」学習会が今年もたくさん実施されます。(お正月から春にかけて毎月2～3回実施。)横須賀のヤマトタケル道、よこやまの道の奥州廃道や中尾道、唐木田編、瓜生黒川往還、高尾周辺歩き、黒川の古代史ロマンの道、相模國府跡のバスツアーなど盛りだくさんです。皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。(P4～6 関連記事 参照)

宮田太郎団長と行くロマン探索ウォーク

申し込み不要 当日現地にて受付 参加費：団員 700円 一般 1,000円 団員ご家族は2人で1,000円
昼食：自由昼食(飲食店でも弁当持参でも可) 水筒(飲料)・雨具等のウォーキング・グッズは各自でご持参下さい
雨天でも実施(大雨や大風などのよほど荒天時のみ中止(当日朝6:30までに催行可否を決定します)

宮田 携帯 090-7002-3431 *詳細は歴史古街道団HP参照

晴れでも、雨でも、わからぬ、通り雨
対策として雨具は必需品

正月スペシャル・ウォーク

明治天皇“多摩来遊”聖蹟の謎～武藏野大展望の丘さんぽ～

■日帰り探索ウォーク

2017年 1月25日(水)

【内容】明治14年から17年にかけて、東京に遷都したばかりの明治天皇は、4回も多摩に兔狩りと鮎猟に来られ、また続いて昭憲皇太后、英照皇太后、北白川宮、伏見宮、有栖川宮、東久邇宮、李王殿下、大正天皇などが、昭和10年まで34回も多摩市連光寺の丘に来遊しています。「聖蹟桜ヶ丘」の駅名の根源、江戸幕府側の新選組の支援者たちが居た「多摩」になぜこん

なに新政府側の皇室関係者が来られたのか、万葉時代から「向ノ岡」と呼ばれてきた大展望の丘に立って当時に想いを馳せてみましょう。雲が無ければ秩父丹沢連峰のみならず、日光男体山、榛名山、赤城山も見える、正月ならではの清々しいウォークです。

【コース】京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」西口改札 午前10時集合～一ノ宮の渡し～一ノ宮小野神社参拝～入江古道～聖蹟桜ヶ丘駅周辺で自由昼食～関戸渡し場道(奥州古道)～大栗橋と鎌倉古道～防人が歩いた古代東海道の大坂～向ノ岡(対鷗荘跡)～明治天皇御野立所跡～武藏野大展望の夕日の丘～辻晴明坂～旧多摩聖蹟記念館～古代東海道打越山遺跡～春日神社前から路線バスまたは徒歩で聖蹟桜ヶ丘駅 解散は15時30分頃 行程約5km

早春スペシャル・ウォーク

梅咲く百草園“百草城と真慈悲寺”的歴史ロマンさんぽ

■日帰り探索ウォーク

2017年 2月25日(土)

【内容】東京都日野市の百草園は、梅園と歴史ある武蔵野が展望できる景勝地として有名。平安時代から鎌倉時代にかけて、ここには吾妻鏡にも記された古代寺院「真慈悲寺」があったと考えられています。また八幡太郎源義家や父・頼義の奥州征討伝説とこの丘の関係、近年の発掘成果や、中世城郭「百草城」の

謎などについて、この城郭を発見した経験を基に団長・宮田がご案内していきます。早春の歴史ある高台に立って、平安・鎌倉時代ロマンを散歩しましょう。

【コース】京王線「百草園駅」改札口前 午前10時～田中島と落川遺跡～奥州古道～松連寺石塔～仁王門跡～旧参道～小林権太夫の墓～百草園(各自弁当昼食、蕎麦店、売店あり。入園料300円)～百草城～百草八幡宮～百草城外郭～寿昌院の墓～百草園駅 解散は15時頃 行程約5km



▲百草八幡宮

春の歴史ロマン探索シリーズ

東京古道探検 八王子の鎌倉古道とひよどり山の謎

■日帰り探索ウォーク

2017年 3月16日(木)

【内容】八王子中心街の北方には、小高いひよどり山があり、古代～中世の古街道が南北に乗り越えていました。かつて武田信玄の子である勝頼が大群で陣を張った尾崎山や、都立小宮公園付近は展望の良い森や古代遺跡が広がり、また飛鳥時代の特殊

な古墳とみられている北大谷古墳もあります。若草が芽生える相州の北八王子の丘を散策していきましょう。

【コース】京王線「京王八王子駅」改札口前 午前10時集合～子安神社～市守大鳥神社～大義寺～近くの複数のファミレスで自由昼食～ひよどり山越え鎌倉古道～小宮公園～北島三郎邸前～山頂古道交差点～鎌倉古道～尾崎山～北大谷古墳～大善寺～大和田郵便局前～路線バスで八王子駅 解散は15時30分頃 行程約5km



大縄文街道“多摩よこやまの道&延長ライン”の謎③

境川源流“大戸観音から草戸山”の古街道

■日帰り探索ウォーク
2017年4月22日(土)

★山間ハイキング中級者以上向き(足のご心配な方は、大地沢青少年センター奥の境川源流から相原駅へ路線バス利用で戻ることも可能です)

【内容】春から再開する大縄文街道は、いよいよ山里に入っていきます。高麗系渡来人の遺跡?が眠る大戸から草戸山、タツゴ山へと、始めて関東山地に入っていきます。多摩丘陵から関東山地へと切り替わる境目ならではの神秘的な古街道コースです。距離はそれほどハードではありませんが、アップダウンが連続します

ので、各個人で無理の無い範囲でのご参加をお勧めします。
(山間にいる前の大地沢で早めに終了することが可能です。)



【コース】JR相原駅改札口前に午前9時45分集合(*10時ではないので注意)～路線バスで法政大学前バス停下車～鎌倉街道秩父山ノ道～大戸観音堂～熊野神社～春日神社と謎の鎌倉街道防壁の跡～都立大戸公園(各自弁当昼食)～大地沢青少年センター～境川源流～草戸山～城山湖～タツゴ山展望台～雨降谷戸～路線バスでJR相原駅。

*天候その他の理由で、後半のコースを若干変更する場合があります。ご了承ください。

みやたたろう 2017年1月～3月末の外部講座と旅

各コースとも事前の申込みが必要です。★印(1月11日・15日／2月8日・19日／3月15日・19日)はシリーズ半年分セットで申し込み。必ず事前に詳細要項等をご確認下さい。それ以外のものは単発で申し込みができます。

- 1月11日(水) ★日帰り探索ウォーク 「江戸深川“清澄庭園”と深川江戸資料館」 主催→NHK学園 オープンスクール
- 1月14日(土) 両日とも同じ内容で開催 日帰り探索ウォーク
1月19日(木) (お好きな日を選択) 神々の宮廻(みやこ)シリーズ⑤『埼玉大宮氷川神社の長大な参道の謎』 主催→クラブツーリズム街道
- 1月15日(日) ★日帰り探索ウォーク 「伊賀忍者の隠れ里?原宿村の謎」 主催→多摩らいふ俱楽部
- 1月17日(火) 歴史講演会(どなたでも参加OK)13:30～15:30 会場:「たましん府中店2階セミナー室」
『高麗人大移動の謎～大磯から多摩・八王子へ、高麗若光伝説と遺跡～』 主催→多摩らいふ俱楽部
- 1月21日(土) 日帰り探索ウォーク 大縄文街道シリーズ②—2回目
『縄文ニュータウンと防人(さきもり)見返りの峠』 主催→クラブツーリズム歴史
- 1月22日(日) 歴史講演会 14:00～16:00 『鎌倉街道 古代街道と国府』 主催→国分寺市恋ヶ窪公民館
- 1月31日(火) 両日とも同じ内容で開催 日帰り探索ウォーク
2月4日(土) (お好きな日を選択) 「大縄文街道シリーズ③ 大栗川に沿う縄文ロード」 主催→クラブツーリズム歴史
- 2月8日(水) ★日帰り探索ウォーク 「雄大なる古代風景観の里
“千代ヶ丘&細山(川崎市麻生区百合丘)”」 主催→NHK学園 オープンスクール
- 2月18日(土) 講演会「知られざる境川(高座川)の歴史ロマン」
(どなたでも参加OK)15:30～17:30 主催→朝日カルチャーセンター湘南(藤沢)
- 2月19日(日) ★日帰りバスツアー 「平塚と大磯の古代遺跡と古街道」 主催→多摩らいふ俱楽部
- 3月4日(土) 日帰り探索ウォーク「鎌倉幕府の流鏑馬名手“小山田兄弟の馬牧遺跡”(仮題)」
(唐木田駅から都立小山田緑地公園内までの歴史探索ウォーク) ※内容は現在調整中 主催→告知開始前のため1月中旬に発表予定
- 3月12日(日) 日帰り探索ウォーク「平山城址公園の城跡と鎌倉古道の歴史ロマン探索(仮題)」
※内容は現在調整中 主催→告知開始前のため1月中旬に発表予定
- 3月15日(水) ★日帰り探索ウォーク 「古代防人の里“武藏都筑郡茅ヶ崎”の古道」 主催→NHK学園 オープンスクール
- 3月18日(土) 歴史講演会
主催・会場→東海道かわさき宿 ※内容は調整中1月下旬に発表予定
- 3月19日(日) ★日帰り探索ウォーク 「三軒茶屋の旧大山街道界隈探索」
主催→多摩らいふ俱楽部
- 3月20日(月) 日帰り探索ウォーク 「府中・奥州街道の歴史ロマンと人見街道(仮題)」
主催→告知開始前のため1月中旬に発表予定
- 3月21日(火) 両日とも同じ内容で開催 日帰り探索ウォーク
3月25日(土) (お好きな日を選択) 「武藏野大湧水!東久留米の最古の縄文遺跡群」
主催→クラブツーリズム歴史
- 3月23日(木) 両日とも同じ内容で開催 日帰りバスツアー
3月26日(日) (お好きな日を選択) 「群馬のポンペイ遺跡を探る～榛名山山麓の古代ロマン～」
主催→クラブツーリズム街道
- 3月31日(金) 歴史講演会 「アルプス古道と山麓の歴史ロマン物語」
会場:新宿アイランドタワー内
(時間その他詳細は追って発表)

お問い合わせ

◎NHK学園 国立本校
◎多摩らいふ俱楽部
◎国分寺市恋ヶ窪公民館

☎042-572-3151
☎042-526-7777
☎042-324-1926

◎クラブツーリズム 街道
◎クラブツーリズム 歴史
◎朝日カルチャーセンター湘南

☎03-5323-6681
☎03-5323-6940
☎0466-24-2255

ガイドリーダーと行く史跡探索!

横須賀のヤマトタケル古東海道を散策

—松本講師のガイドによる古東海道シリーズ5回目(最終回)—

～天神坂・安房口神社・走水～

【内容】古東海道は足柄峠を越え、鎌倉・葉山から三浦半島を横切り、走水から舟で上総(千葉)に渡り、北上するルートが推定されます。

横須賀市内では衣笠の曹源寺(旧宋元寺)、大津の天神坂、安房口神社、浦賀、小原台、走水という道順であると考えられています。安房口神社からは東京湾、房総の山が真近に見え、日本武尊が海路をたどる上総国への道筋を確認し、航路の安全、東征勝利を祈願したのではないのでしょうか。三浦半島の古東海道要衝の地であるこの神社は北条政子も安産祈願をしたとの記述があり、絶対はずせない神社です。雄大な眺望の中を歩きますが、登り坂は路線バスで楽なコースにしてみました。

【コース】京急「久里浜駅」東口改札前 10:30集合～京急「久里浜駅」東口1番乗場、「久20」湘南山手行10:41発乗車、安房口神社下車～安房口神社～大津諏訪神社～天神坂～愛染稻荷～大津公園(昼食)～坂本竜馬妻おりょう旧居跡～信楽寺おりょうの墓～大津バス停よりバス乗車し防衛大正門前下車～ふれあいの森休憩～走水神社と渡海の浜・御所ヶ崎～観音崎ボードウォーク～観音崎バス停解散(15:30頃)～横須賀駅で京急本線馬堀海岸バス停下車(または京急本線最寄駅)

2017年
1月21日(土) ガイド▶松本英昭(団員)

連絡先 / 松本 英昭 ☎ 090-1255-3807



高尾あるき(その4)

—立春の日に、めじろ台駅から、湯殿川の歴史と都文化財を探る散策—

2017年
2月4日(土) ガイド▶高尾あるきの会(団員)

連絡先 / 伊藤 ミチ子 ☎ 090-5403-2217

【内容】前回(4月6日、9月3日)の続きです。八王子市の長房丘陵を越えた鎌倉古道「山の道」三ルート(廿里坂・太夫坂・不動坂)の南側の延長線を探るコースです。

不動坂から月夜峰、長房三軒在家、三田、めじろ台の丘陵を登り、下るところが二軒在家になります。今回のコースは京王線めじろ台駅をスタートして二軒在家、飼田縄文遺跡、慶長元年1596創建の飼田御嶽神社、古道の雰囲気を感じながら龍見寺に向かいます。龍見寺で都指定有形文化財金剛界大日如来(平安末期作)を拝観します。次に北条氏照の家老職近藤出羽守の屋敷跡淨泉寺を参拝し、その下にある「つつみの池公園」で昼食(各自持参)をとりたいと思います。そこも古道の跡が窺われ法政大の敷地に向かっています。昼食後近くにある御靈神社にいきます。祭神は「前九年の役」の鎌倉権五郎景政で天正1580の頃創建とされています。そこから湯殿川沿いにしばらく歩きます。高尾駅に出る途中、高樂寺に立ち寄ります。八王子市史跡「横穴石仏群」があり枝垂れ桜で有名なお寺です。

高尾駅南口には「みころも靈堂」、「菅原道真」の大きい立像、全国から集めた各都道府県木の植え込み、などもあります。

【コース】京王高尾線「めじろ台駅」改札口前 10:00集合～二軒在家神社～飼田縄文遺跡～龍見寺～淨泉寺～つつみの池公園(昼食:各自持参)～御靈神社～高樂寺～みころも靈堂～高尾駅南口付近(15:00頃解散予定)



▲ 御靈神社

相模の国府跡と街道を訪ね駅家跡も探索

—歴史古街道団 春のバス旅行—

2017年
3月2日(木) ガイド▶岡田 涉(団員)

連絡先 / 岡田 涉 ☎ 080-3594-7002

狩野 亮子 ☎ 080-1933-0144

【内容】相模国の国府はどこにあったかこれまで確定されておらず、高座郡→大住郡→余綾郡と移転していたのではと云われていました。そこで平塚市は(平成元年～16年)の発掘調査を行い、稻荷前遺跡などから国府の建物と思われる多数の掘立柱建物の跡や「国厨」(くにのくりや)と墨書きされた土器および古代東海道跡などを確認し、大住郡の国府の存在を決定しました。一方相模



川を挟んで茅ヶ崎の下寺尾遺跡では、官衙という古代の役所跡が発掘され、さらには古代寺院(七堂伽藍跡)や8世紀後半から9世紀前半にかけての船着き場と祭祀場も検出されました。これらは律令期の官衙の全体像が把握できる稀有な遺跡であることから、平成27年に国の史跡に指定されています。

今回これら遺蹟現場と博物館を訪ね、律令期の成立から廃絶に至るまでの過程や地方官衙の構造や立地などについて想像してみたいと思います。併せて、大磯城山公園(余綾郡)から千代廃寺と関本公園も立ち寄り、往時の街道(駅家)や条理跡なども探索します。

【コース】JR橋本駅改札出口 7:50集合(雨天決行)～バス乗車(8:00 出発)～圏央道相模原愛川IC～圏央道寒川北IC～茅ヶ崎市下寺尾遺跡～平塚市博物館～大磯城山公園～千代廃寺～関本公園など～東名高速道路松田IC～JR橋本駅(18:30頃解散予定)



- 備考**
- バスツアーなので事前申込みが必要です。所定の申込書またはEメール w-okada@tbz.t-com.ne.jp (岡田)にて2月14日までにお申し込み下さい。なお募集人数は28名(先着順)ですので申込みはお早めに…!!
 - 参加費／5,500円(バス代・傷害保険代含む) 当日申し受けます。

※ 各コースとも(3月2日のバスツアーは除く)

参加費 団員 500円 (団員家族は2人で 700円) 一般は一名700円 (資料代&保険料 共)

半日ウォーク(1月12日&4月16日)は団員 300円 (団員家族2人で 500円) 一般は一名500円 (資料代&保険料 共)

事前申し込み不要。当日現地にて受付。雨天時は中止。(小雨決行。当日朝7:30までに各連絡先にお問い合わせ下さい。)

昼食(弁当)・飲料・敷物・雨具等ウォーキンググッズは各自ご持参下さい。

実施要領は、チラシまたはホームページにてご確認ください。【3月2日はバスツアーですので実施要領は特にご注意下さい】

花見て奥州古道を歩こう!

- 多摩市の有名な枝垂れ桜、奥州古道中尾道! -

2017年
3月26日(日) ガイド♪須知正度(団員)

連絡先 / 須知 正度 090-3695-7580

【内容】皆様ご承知のとおり、桜はソメイヨシノばかりではありません。多摩市には、樹齢数百年を誇る有名な「枝垂れ桜」の古木があります。樹齢600年と言われる吉祥院の枝垂れ桜、その子孫と伝えられる樹齢200年の川井家の枝垂れ桜です。今回は、これらを愛でて、春の気を満喫したいと思います。

歴史古街道団のウォークですから花や団子ばかりではなく、古道もしっかり歩きますよ! 午前中は、公園中心の観桜ウォークですが、昼食後は奥州古道中尾道に沿って歩きます。青木葉通り沿いに天満宮、東福寺、白山神社を訪ねます。

【コース】唐木田駅改札口前10:00集合～鶴牧西公園(川井家の枝垂れ桜)～鶴牧東公園～奈良原公園～宝野公園(昼食)～青木葉天満宮～旧富澤家住宅～東福寺～落合白山神社～吉祥院(枝垂れ桜)～多摩センター駅方面へ(15:00頃解散予定)

※ 都合により変更の場合有り



◀ 吉祥院

団員のガイドによるウォーキング『多摩よこやまの道を歩こう』パートⅡ始まる

須知講師のガイドで実施していた毎月定例の「多摩よこやまの道を歩こう」は2016年11月より団員で構成する4グループが交互のガイドによるウォーキングとなりました。よこやまの道と交差する古道や史跡の解説、里山の四季鑑賞、野鳥や植物の観察などを基本は従来のウォーキングと変わりありませんが、新しいガイドの目で新しいテーマや新しいコースも織り込みながら進めていきたいと思います。乞うご期待…!! (※各コースとも都合により変更の場合有ります)

連絡先 080-3594-7002 (岡田) —

2017年 1月12日(木) 歩きたい道で眺望を楽しみましょう! 岡田涉・狩野亮子・高野みどり講師のガイドウォーク

【内容】万葉の頃、武蔵国府から眺めると横に連なる山々を「多摩の横山」「眉引きの山」と呼んでいました。その夕影も美しい尾根筋を今は「よこやまの道」と称しています。今回は、唐木田駅から「よこやまの道」を西から東へ、古戦場伝説勝負塚、小野路浅間神社経由で小野路宿里山交流館まで歩きます。眺望の良い尾根筋や起伏に富んだ古道を歩き、途中の石仏にもお参りし、今年一年の安全と健脚を祈願しませんか。新春を小鳥たちも元気に囁り、皆さんを迎えてくれるでしょう。

【コース】小田急多摩線「唐木田駅」改札前 9:30集合～奥州廻道(長坂道)～古戦場伝説勝負塚～中尾石仏群～奥州古道(中尾道)～小野路浅間神社～小野路バス停～小野路宿里山交流館(12:00頃解散予定)行程約5km

連絡先 090-1255-3807 (松本) —

2017年 2月11日(土) 開発前の唐木田を知ろう! 麻生直昭・杉山由利子・松本英昭講師のガイドウォーク

【内容】唐木田の里は遠い武蔵の國の時代より、多摩市となる今日まで、さまざま歴史の流れの中で先人が愛し、努力し、築きあげた里です。多摩ニュータウンの建設で緑の森は伐採され、大型ブルドーザーで野も山も削りとられ、谷戸は埋まり、田畠や小川の流れも消え去りました。この里につけられた愛着のある地名も忘れられようとしている。そこで、よこやまの道の唐木田周辺に残る地名にどのような謂われがあるのかお話したいと思います。もとより現在の地形は変貌していますが、神社・石仏等もほぼ同じ場所に戻されています。在りし日々の風景を思い出し、散策したいと思っています。

【コース】小田急多摩線「唐木田駅」改札前 9:30集合～唐木田稻荷神社～あらたの辻～からきだの道砦山～よこやまの道影取池跡～切通し～奥州廻道長坂道～あざざ池(昼食)～長坂橋子育て地蔵(つげ笠地蔵)～川井家しだれ桜～秋葉神社～からきだの道寺入りの池～中沢池公園～神明社～二反田公園～唐木田駅(15:30頃解散予定)

連絡先 080-6754-1800 (富田) —

2017年 3月 7日(火) 瓜生黒川往還～近世の道を歩く 斎地カズエ・真壁寿美子・富田昭夫講師のガイドウォーク

【内容】「多摩よこやまの道」は、関東山地東端の南高尾山稜から、東へ延びる尾根上に位置している。この尾根を、鎌倉街道や古東海道などの多数の道が南北に貫いている。その一つが、多摩市の瓜生と川崎市麻生区の黒川を結ぶ瓜生・黒川往還で、近世、黒川炭や禅寺丸柿を市場に運ぶ近道であったという。

多摩ニュータウン開発のため、多摩市側には当時の面影は殆ど残っていない。しかしわずかに残る資料や伝承をつなぎ合わせて、この往還を歩いてみると、果たしてどのような景色が見えてくるのだろうか。防人の時代とは少し違う瓜生や黒川に会えるかもしれない。

【コース】小田急線・京王線「永山駅」改札前 9:30集合～永山橋～阿弥陀堂～西向き地蔵～麦花塚～瓜生一里塚～(自由昼食)～瓜生緑地～(化粧坂)～よこやまの道～防人見返りの峠～汁守神社～セレサスモ～小田急線黒川駅(15:30頃解散予定)

連絡先 090-5403-2217 (伊藤) —

2017年 4月16日(日) 「汁守神社」「飯守神社」を訪ねる 中村敬子・三好孝典・伊藤ミチ子講師のガイドウォーク

【内容】よこやまの道の南、黒川にある「汁守神社」、町田市真光寺町にある「飯守神社」は、武蔵国の総社・六所宮(現在の大國魂神社)の末社として「くらやみ祭」の膳部の「汁」「飯」をととのえる役目を担ったことが社名の由来といわれており、また栗木にある「栗木御嶽神社」は、「菜守神社」であったのではないかという説もあります。なぜこの地域が祭祀の食事を世話するようになったのか、等を皆で考えてみましょう。

【コース】小田急多摩線黒川駅 9:30集合～汁守神社～真光寺公園～飯守神社～布田道～別所～多摩車庫バス停(12:30頃解散予定)

一月1回 実施

古代史勉強会 地域を良く知るために多摩の歴史を中心に勉強し楽しむ会

古代史勉強会まとめ役：須知 正度 ▶連絡先／TEL 090-3695-7580

日 時：2017年1月27日(金) 9:30～11:30

場 所：関戸公民館 第3学習室（定員40名）

テー マ：金属器（青銅器、鉄器）の登場！

レポーター：須知 正度

参加費：300円（資料代）

【趣旨】「歴史を改めて見直す」とどのようなものが見えてくるか？ということで、とりあえず旧石器時代から縄文・弥生時代に関して、多摩地域で発掘された遺跡報告書等を次のとおり、勉強しました。

第1回 1月20日(水)

旧石器時代一小平鈴木遺跡他

第2回 2月19日(金)

縄文時代①一多摩ニュータウン
No.72遺跡

第3回 3月18日(金)

縄文時代②一多摩ニュータウン
No.72遺跡、AMS法

第4回 7月15日(金)

縄文から弥生へ、弥生の始まりが早く
なったのか？

第5回 8月19日(金)

関東の弥生時代

次回の予定

2017年2月24日(金) 14:00～16:00

関戸公民館 第1学習室

テーマとレポーターは、未定

吾妻鏡勉強会 吾妻鏡に描かれた鎌倉時代の出来事について勉強し楽しむ会

吾妻鏡勉強会まとめ役：藤田 一彦 ▶連絡先／TEL 080-5184-9840

日 時：2017年1月20日(金) 14:00～16:00

場 所：関戸公民館 第3学習室（定員40名）

テー マ：和田合戦までの源実朝

レポーター：藤田 一彦

参加費：300円（資料代）

【趣旨】鎌倉幕府と呼ばれる武家政権の出来事は、幕府の正式記録として「吾妻鏡」に記録されているといわれています。記されている内容は、必ずしも真実ばかりではなく、たとえば北条氏の都合によってゆがめられているとも言われています。しかし、鎌倉時代を知る上で「吾妻鏡」は第一級の資料もあります。

この吾妻鏡を読み鎌倉時代の諸事件がどう描かれているか、その背景・意味・疑問などを自由に討議、勉強する会を行っています。

吾妻鏡を最初から読むというやり方ではなく、事件・事柄ごとにいくつかのテーマをとりあげ吾妻鏡にどう書かれているか、原文・現代語訳を読みそのほかの資料なども参照し、皆で考え想像、討議しています。

今後のテーマ（案）

承久の乱 和田合戦 宝治合戦
実朝暗殺 貞永式目 など

次回の予定

2017年2月17日(金) 14:00～16:00

多摩女性センター・ワークショップ・ルーム
(関戸公民館7階)～定員24名

テーマとレポーターは、未定

興味のある方は、どなたでも歓迎します。ご参加ください。

詳細は歴史古街道団のホームページに告知予定。

2017年度 定期総会 開催

第13回 定期総会を下記の日程にて行う予定です。団員の方は、奮ってご参加ください。

と き：2017年5月14日(日) 午後2時から

と こ ろ：多摩市 関戸公民館 8階 大会議室



仲間を募集中!!
入会ご希望の方をご紹介ください!



団員には、団主催行事参加費を割引、歴史ロマン古道ニュース（団報）をお送りします。

年会費は3,000円（4月より翌年3月まで。10月以降入団は1,500円）

【お申し込み方法】ゆうちょ銀行備付け振替払込取扱票に、「入団」と明記し、ご住所・ご氏名・
ご連絡先電話番号をご記入の上、年会費を下記へご送金下さい。

【振込先】ゆうちょ銀行振替口座：00140-7-445195

【加入者名】：歴史古街道団

ウォーキング参加時などに、団役員へお申し出いただいても、手続きをいたしますのでお気軽にどうぞ。



— 秋田県由利本荘市 フットパスに参加して —

狩野 亮子(団員)

10月15・16日の開催日前14日に秋田入りした。秋田空港は雨であった。送迎バスで由利本荘市役所に向かう小1時間の間に雨は上がっていた。ホテルまでの距離を、遠回りしながら市内見学をした。綺麗で、清潔感のある町という印象であった。電柱が地下に埋められており、すっきりとしていた。ホテルの展望レストランで、早めの夕食を摂った。ここからの夕景は忘れられない。日本海に沈む太陽は、厳かであった。

15日、午前中が各コースごとのウォーキング、午後フォーラム、夕夜交流会。16日は、午前中コース別ウォーキング。個々解散の日程となっていた。歴史古街道団からは、4人の女性と団長の5人で、「城下町・本荘」コースを15日に、「城下町・亀田」コースを16日に散策した。15日の午後、交流会までの時間を利用して、子吉川(コヨシガワ)対岸の石脇地区を散歩した。高台の東屋からは鳥海山までの眺望を楽しみ、海岸までの道を探索しながら延々と歩いた。切れ込んだ海岸線、漂流物、日本海に手を浸した感動、波に翻弄されたひとときであった。沈む太陽に未練を残し、人工の光の中へと帰った。交流会は、実行委員の方々の行き届いた演出で、大盛り上がりであったこと、言を俟たない。きりたんぽを食べ損ねたのは、残念だった。

16日は、亀田まで送迎バスが用意さ



▲ ウォーキング前に



▲ 幸村 五女「直」の墓所



▲ 岩城家累代の靈廟

れていた。この地は、久保田藩(秋田藩)の支城・亀田藩の城下町であった。真田幸村の五女「直」所縁の地である。母は、豊臣秀次の娘である。直は、囚われた後江戸・大奥で3年暮らした後、母のいる京都に戻った。ここで佐竹宣家の側室となり、子・重隆を産んだ。重隆は亀田藩主となったが、後に夫・宣家が藩主となり、岩城宣隆と名を改めた。そして、直は「お田(デン)の方」と呼ばれるようになった。今は、妙慶寺に眠る。

亀田の人々は、時を経ても住み続け、山合いの中、静かな時間を苔とともに育んでいる。

今回は、日本海の町への興味と、驚きの歴史への旅となった。歴史が、文化が、そして人々との交流が、「フットパス」の意義かと認識した3日間であった。感謝したい。

来年は、福岡県・中間市「世界遺産がある街」。2017年11月11日～12日に開催予定。

晩秋の上毛野(かみつけの)群馬県を訪ねる

(日本のポンペイ渋川市金井遺跡と真田丸の舞台名胡桃城を探索)

酒井 春男(団員)

NHK大河ドラマ「真田丸」の舞台名胡桃城を訪ねるという案内状にひかれ参加。おなじ動機の仲間がいてもおかしくはないと思ってバスに乗車。

最初に綿貫音山古墳に到着。未盗掘で、見事な切石組石室と豪華な副葬品が特徴とか。石室入り口で無数の目に見えない虫に襲われ難儀した。最大で25tもあり6個もどうやって運んできたのが?

明日香の石舞台を彷彿させる思いがした。統一県立歴史博物館で東国古墳文化展示など見学。金井東浦遺跡から発掘された『甲を着た古墳人』のレプリカの前で、学芸員の懇切丁寧な特別ガイダンスを受ける。火碎流が来た方向に向かって武人が甲を着ていた訳(想像)や最新のストロンチウム分析による年齢や顔つき血縁関係など。最近の古代史は科学的な分析を取り入れていることに感心した。

併設の群馬の森公園で昼食をとったが、幼稚園、小学生など大勢学習がてらにピクニック? 広くてのんびり出来、また静かに時を刻んでいるような優しさを感じる公園でした。

午後は例弊使街道を車上から見学し、いよいよ発掘現場へと向かった。金井下新田という発掘現場では、廻い状遺構が見つかった区画まで降りて、県の埋蔵文化財調査事業団の方から軽石層と火碎流の僅かな地層に1500年前の生活がパックされていることなど説明を受け納得した。また5世紀の鍛冶遺構の発見など、今まで知らなかつた東国の社会像を浮き彫りにしたのではと思った。



◆ 古墳時代の足跡

◆ 名胡桃城址二の郭

そして最後に名胡桃城の見学。突き出た段丘面に築かれた自然の要害に守られた山城で天守閣のようなものは無く、沼田城からは3kmと至近距離。周りの風景と共に真田一族の生活戯いぶりが思い出され、命のやりとりの日々をどのような気持ちで過ごしていたかを考えると、自分では恐ろしくて留まれないと思った。本日のバス旅行は、各時代を生き各々さまざまに逞しい生きざまを後世に伝えてくれたことに感動し、また感謝をしたい。榛名山爆発火碎流の地層に残った足跡、甲を着た武人、観音山古墳の石室、廃城の名胡桃城……雲ひとつない青々とした陽気の良い日、握り飯を持って草むらに寝ころびながら空を見、そして城跡をのんびり歩きながら昔に思いを馳せ一日を過ごせたらどんなにか幸せだろうかと、帰りのバスの中で思いました。

最後に今回の企画から事前の準備、交渉、案内、安全管理などに奔走されたバスツアー委員の方々および歴史古街道団に心から感謝しております。ありがとうございました。

歴史古街道団 予定表 (2017年1月～2017年4月)

※注 (団)=歴史古街道団 【宮田】=宮田太郎ウォーク 【学】=講演会・学習会 【ガイド】=ガイドリーダーウォーク

月日	集合場所・時間	探索・学習テーマ	参加費	申込み	問合せ先
1月12日(木)	小田急多摩線「唐木田駅」改札口前09:30	【半日ガイド;岡田・狩野・高野】よこやまの道を歩こう！西コース 跳望を楽しみ、石仏参り	団員:300円 一般:500円	当日	(団)岡田 Tel.080-3594-7002
1月20日(金)	関戸公民館第3学習室 14:00～16:00 京王線聖蹟桜ヶ丘駅西口徒歩3分	【学】吾妻鏡勉強会⑬～輪番レポーター制、参加歓迎 テーマ;和田合戦までの源実朝 レポーター;藤田一彦	300円	当日	(団)藤田 Tel.080-5184-9840
1月21日(土)	京急線「久里浜駅」東改札口前10:30	【ガイド;松本】古東海道シリーズその5(最終回) ～横須賀のヤマタケル古東海道散策～	団員:500円 一般:700円	当日	(団)松本 Tel.090-1255-3807
1月25日(水)	京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」西口改札前10:00	【宮田】正月スペシャル・ウォーク 『明治天皇“多摩來遊”聖蹟の謎 ～武蔵野大展望の丘さんぽ～』	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 Tel.090-7002-3431
1月27日(金)	関戸公民館第3学習室 09:30～11:30 京王線聖蹟桜ヶ丘駅西口徒歩3分	【学】古代史勉強会⑥～輪番レポーター制、参加歓迎 テーマ;金属器(青銅器、鉄器)の登場！ レポーター;須知 正度	300円	当日	(団)須知 Tel.090-3695-7580
2月4日(土)	京王高尾線「めじろ台駅」改札口前10:00	【ガイド;高尾あるきの会】高尾歩き-その4 立春に湯殿川流域を散策しましょう！	団員:500円 一般:700円	当日	(団)伊藤 Tel.090-5403-2217
2月11日(土)	小田急多摩線「唐木田駅」改札口前09:30	【ガイド;麻生・杉山・松本】よこやまの道を歩こう！ 西コース 開発前の唐木田を知ろう！	団員:500円 一般:700円	当日	(団)松本 Tel.090-1255-3807
2月17日(金)	関戸公民館7階ワークショップルーム 14:00～16:00 京王線聖蹟桜ヶ丘駅西口徒歩3分	【学】吾妻鏡勉強会⑭～輪番レポーター制、参加歓迎 テーマ;未定 レポーター;未定	300円	当日	(団)藤田 Tel.080-5184-9840
2月24日(金)	関戸公民館第1学習室 14:00～16:00 京王線聖蹟桜ヶ丘駅西口徒歩3分	【学】古代史勉強会⑦～輪番レポーター制、参加歓迎 テーマ;未定 レポーター;未定	300円	当日	(団)須知 Tel.090-3695-7580
2月25日(土)	京王線「百草園駅」改札口前10:00	【宮田】早春スペシャル・ウォーク 『梅咲く百草園“百草城と真慈悲寺”的歴史ロマンさんぽ』	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 Tel.090-7002-3431
3月2日(木)	JR横浜線「橋本駅」改札口前07:50	【旅行】日帰りバスツアー ～相模の古代国府関連遺跡を訪ねる～	一人 5,500円	要申込	(団)岡田 Tel.080-3594-7002
3月7日(火)	小田急・京王線「永山駅」改札口前09:30	【ガイド;齋地・真壁・富田】よこやまの道を歩こう！ 瓜生黒川往還～近世の道を歩く！	団員:500円 一般:700円	当日	(団)富田 Tel.080-6754-1800
3月16日(木)	京王線「京王八王子駅」改札口前10:00	【宮田】春の歴史ロマン探索 『東京古道探索 八王子の鎌倉古道とひよどり山の謎』	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 Tel.090-7002-3431
3月26日(日)	小田急多摩線「唐木田駅」改札口前10:00	【ガイド;須知】花見で奥州古道を歩こう！ 枝垂れ桜の名木と奥州古道中尾道	団員:500円 一般:700円	当日	(団)須知 Tel.090-3695-7580
4月16日(日)	小田急多摩線「黒川駅」改札口前9:30	【半日ガイド;伊藤・中村・三好】よこやまの道を歩こう！ 「汁守神社」、「飯守神社」を訪ねる！	団員:300円 一般:500円	当日	(団)伊藤 Tel.090-5403-2217
4月22日(土)	JR横浜線「相原駅」改札口前09:45(時刻注意！)	【宮田】大縄文街道“多摩よこやまの道延長ライン”の謎③ 『境川源流“大戸観音から草戸山”的古街道』	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 Tel.090-7002-3431

◆編集後記◆

この冬の寒さは平年並とのことですですが、皆様ご健勝のことと存じます。大変遅くなりましたが、2017年1月から4月までの予定をお届けいたします。宮田団長の“多摩よこやまの道延長ライン”探索シリーズが始まり、同ラインの調査・探索に団員有志も参画して進めます。また、古道跡の保全活動の実践、団員ガイドウォーク、勉強会やバスツアーの開催など楽しい集いになると思います。奮って、ご参加ください。

編集責任：歴史古街道団(須知)

【発行】歴史古街道団

歴史古街道団 団長 宮田 太郎

本部：東京都多摩市桜ヶ丘

TEL. 090-7002-3431

ホームページ <http://rekodan.a.la9.jp/>